

八丈出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 八丈出張所管内(八丈町・青ヶ島村)



【定点把握疾患】2026年第1.2.3週(12月29日~1月18日)

八丈島 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:1件(2週)
インフルエンザ:6件(1週)、6件(2週)
水痘:1件(2週)

青ヶ島 なし(1週、2週)
インフルエンザ:2件(3週)

【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター 第52・1・2週(2025年12月22日~2026年1月11日)

- (52週)インフルエンザの定点当たり報告数は13.44と先週より減少しています。
- (1週)対象疾患全体的に定点当たり報告数が減少していますが、年末年始の休診の影響が考えられます。
- (2週)インフルエンザの定点当たり報告数は、6.86となり警報レベルを下回りました。

2025年の八丈出張所管内(八丈町・青ヶ島村)感染症発生動向【第1週~第52週】

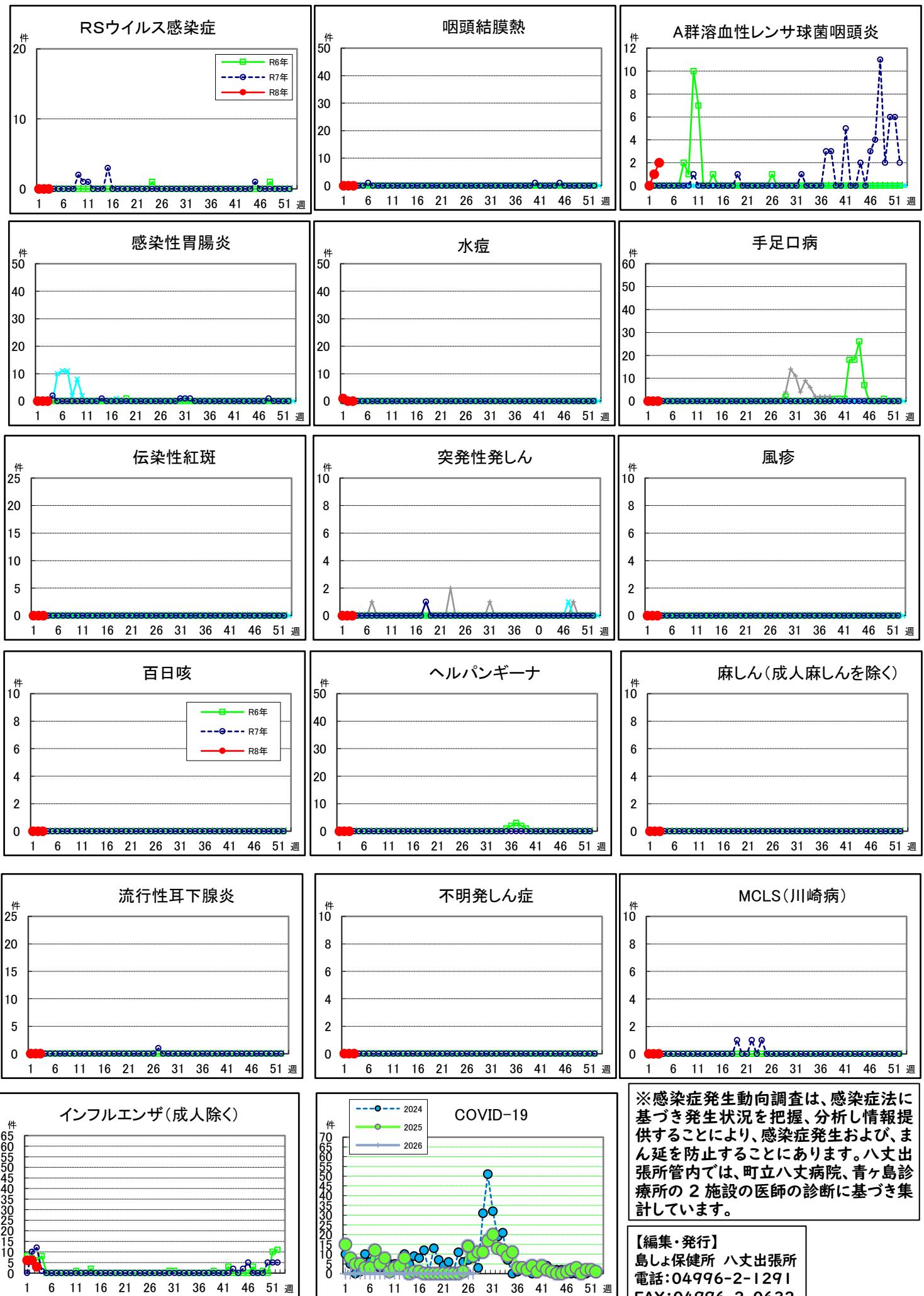
感染症名	性別	男女別 合計	総計
RSウイルス感染症	男	6	8
	女	2	
咽頭結膜熱	男	2	3
	女	1	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	27	50
	女	23	
感染性胃腸炎	男	6	7
	女	1	
突発性発しん	男	1	1
	女	0	
流行性耳下腺炎	男	1	1
	女	0	
MCLS(川崎病)	男	2	3
	女	1	
インフルエンザ	男	28	47
	女	19	
COVID-19	男	116	241
	女	125	

左の表は、2025年1月~12月の期間において報告のあった件数になります。2025年の感染症動向について、管内ではCOVID-19が241件と最も多く、依然として管内の主要な感染症となっています。男女差は大きくありませんが、島内全体で生活圏が共通していることから、引き続き家庭内や職場での基本的な感染対策の徹底が重要です。また、インフルエンザ(47件)やA群溶血性レンサ球菌咽頭炎(50件)も報告され、全国的に指摘されている「溶連菌感染症の増加」という最近の流行傾向と一致しています。小児科領域ではRSウイルス、咽頭結膜熱、突発性発しん、流行性耳下腺炎などが散発的に見られ、保育施設や学校を中心とした流行状況と概ね同様の傾向です。厚生労働省からもワクチン接種や手洗い・換気等の基本的な感染対策の継続が呼びかけられています。島しょ部においても新たなウイルスの流入リスクは常にあり、体調不良時の早めの受診、家庭・職場での健康観察が重要です。管内の皆様には引き続き季節に応じた感染予防と適切な医療機関受診をお願いします。

島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

※八丈出張所管内、東京都(全域)、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

- 島しょ保健所八丈出張所 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shisetsu/jigyosyo/hokenjyo/tousyo/hachijou>
- 東京都(全域) ⇒ Web版感染症発生動向(東京都感染症情報センター) <https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- 全国 ⇒ 国立健康危機管理研究機構(感染症情報提供サイト) <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>
- 厚生労働省感染対策 https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1



※感染症発生動向調査は、感染症法に基づき発生状況を把握、分析し情報提供することにより、感染症発生および、蔓延を防止することにあります。八丈出張所管内では、町立八丈病院、青ヶ島診療所の2施設の医師の診断に基づき集計しています。

【編集・発行】
島しょ保健所 八丈出張所
電話:04996-2-1291
FAX:04996-2-0632